

シロキサン系コンクリート用調色保護材

# S CRETE COLOR<sup>®</sup>

## S クリートカラー<sup>®</sup>

コンクリート打ち放しの色合わせと  
劣化したコンクリートのリフレッシュに最適なコンクリート保護工法

+S CRETE GUARD<sup>®</sup> 浸透性防水保護材

## S クリートガード<sup>®</sup>

剥離防止

クラック抑制

防水

中性化防止

凍害防止

塩害防止

自然な外観

色合わせ



# S CRETE COLOR S クリートカラー

## +S CRETE GUARD 浸透性防水保護材 S クリートガード

コンクリート打ち放しの色合わせと  
劣化したコンクリートのリフレッシュに最適なコンクリート保護工法

S クリートカラー（シロキサン系無機ペイント）はコンクリート打ち放し向けの半透明色調整材です。  
耐候性・退色性・施工性に優れ、コンクリート打ち放しの風合いを損なわず、補修跡などの色違いを自然な風合いで色調整できます。浸透性防水材の S クリートガードと同素材で形成されているため、S クリートガードの撥水力はそのまま保持されます。

## S クリートカラー工法の特長

### 自然な外観

S クリートカラーは無機質のため、塗布後の表面は大変に自然な仕上がりです。経年劣化した古いコンクリートに S クリートカラーを塗布すると、コンクリートの表面がよみがえり、新築同様の仕上がり感になります。

### 色合わせ

S クリートカラーは施工性に優れ、自然な風合いでコンクリート表面の色調整が可能です。  
S クリートカラーは平均的な薄目のコンクリート色に調色されています。  
現場での微妙な色調整は専用液体無機顔料（別売り 黒・黄色）にて調色してください。

### 中性化防止

中性化とは炭酸ガス（大気中の二酸化炭素）がコンクリートの成分と反応し、pH を低下させる現象。経年変化に伴い進行します。コンクリート表面が中性化すると、藻やカビ等の菌類が繁殖しやすくなり、劣化が早まります。S クリートカラー工法はこれらの劣化現象からコンクリートを保護します。

### クラック抑制

S クリートカラーのプライマーとして浸透性コンクリート改質材「S クリートアップ」を事前に塗布すると、S クリートアップの成分がセメント成分と反応し、化学的に安定した CASiO<sub>3</sub>(珪酸カルシウム) を生成します。この珪酸カルシウムは不溶性の C-S-H 結晶（エトリンガイド）としてコンクリート躯体の改質とクラック防止に貢献します。

### 防水

浸透性コンクリート改質材「S クリートアップ」および S クリートカラー工法（S クリートカラー+S クリートガード）との組み合わせにより防水効果が高まり、構造物の長寿命化を実現します。

### 凍害・塩害抑制

S クリートカラーのプライマーとして浸透性コンクリート改質材「S クリートアップ」を事前に塗布すると、凍害や塩害等といった劣化原因から長期間にわたりコンクリート躯体を強固に保護します。

S クリートカラー工法を用いると  
塩害抑制と凍害抑制に非常に有効です。

## 荷姿

- S クリートカラー（白色 / グレーの 2 色）  
主材：8kg 缶（パール缶）  
（水で倍希釈（水と S クリートカラー 1:1 の割合））

〔別売（推奨オプション）〕

- 液体無機黒顔料：0.5kg（ポリ容器）
- 液体無機黄顔料：0.5kg（ポリ容器）
- 液体無機白顔料：0.5kg（ポリ容器）



## Sクリートカラー工法の施工要領・事例



築10年経過のコンクリート打ち放し建造物。  
黒カビと汚垂れによる汚れが顕著。



梁端部。コンクリートの表面に黒カビや苔が集中して発生している。



鉄筋が錆びて爆裂している様子。



浮き部をはつり、鉄筋の防錆処理を施した後、Sクリートアップを塗布。Sクリートアップの効果によりコンクリートの改質・緻密化、アルカリ性回復。また、補修モルタルとの接着性が增强される。



補修モルタルで再成形。



コンクリートの補修(改質)のため、Sクリートアップを塗布後、Sクリートクラック(超微粒子セメント)にて、表面被覆補修をする。Sクリートアップの効果にて、強靱な接着性が保たれる。



表面を塗装。全体にSクリートカラー(シロキサン系無機ペイント材)を塗布する。



Sクリートガードを塗布。  
SクリートガードとSクリートカラーは同じシロキサン系のため塗材の相性が良く、Sクリートガードの撥水力が保持される。



施工終了。美観がよみがえり、長期に美観を維持し、コンクリートを保護します。



施工前



施工後

新築時の美観が再現されました。

# S クリートカラー工法の製品と種類

塗料類	製品名	成分	特徴	容量
浸透性改質材 (オプション)	S クリートアップ	ケイ酸塩系浸透性コンクリート改質材	コンクリート内部に深く浸透し、躯体を改質強化すると同時に透湿性を高めます。	4ℓ、18ℓ
クラック注入・表面被覆材 (オプション)	S クリートクラック	超微粒子セメント+無機顔料+特殊専用樹脂(特殊ポリマーエマルジョン)	クラック注入・表面被覆材のセット。クラック進行拡大抑制と剥離防止、美装を兼ねる効果があります。	*注1
主材	S クリートカラー	シロキサン系無機ペイント	コンクリート打ち放し向けの半透明色調整材です。	8 kg
液体無機顔料 (推奨オプション)	液体無機顔料 (黒・黄・白)	S クリートカラー専用無機顔料	S クリートカラー専用配合された無機顔料です。	各色 0.5 kg
浸透性防水材	S クリートガード	シラン・シロキサン系浸透性防水材	コンクリート・タイル用の浸透性防水材です。S クリートカラーの防水性向上に適しています。	4ℓ、25ℓ

\*注1：S クリートクラックの製品カタログをご参照ください

## S クリートカラー工法の施工手順

### 準備

温度を確認してください (5℃以上 45℃以下)。S クリートカラーは水と 1:1 で希釈してください。  
※S クリートカラーの希釈率は厳守してください。

### 養生

ガラス、アルミ、化粧タイル、樋、手摺、自動車など。  
※ガラス部分に付着すると、曇りが生じる場合があります。

### 下地処理

大きなクラック (0.3mm以上) やジャンカ等の補修を行ってください。貫通クラックは必ず事前補修を徹底してください。S クリートクラック工法をご参照ください。

### 清掃・洗浄

アルカリ洗浄剤を使用し、高圧洗浄機及びブラシ等で施工面のカビや藻などの汚れを落としてください。  
※酸性の洗剤を使用した場合は、必ずアルカリ性洗浄剤等を用いて適切な中和処理を行ってください。  
※新築の打ち放しの場合は、極力離型剤を高圧洗浄等で除去してください。

### 塗布①

S クリートカラーを清水で倍希釈した後、ローラーにて全面に 1~2 回 (追っかけで) 塗付してください。  
(S クリートカラーは薄めのコンクリート色に調合されています。)  
ボカシを強調する場合は液体無機黒顔料 (別売り) を微量加えて濃い目に調合し、フェルト材等にてハタキ塗りしてください。部分補修も可能です。  
塗布量：0.2 ~ 0.3kg/m<sup>2</sup> (希釈後)

### 塗布②

塩害、凍害、防汚・防カビなど多機能な浸透性防水材S クリートガードを塗布をしてください。  
S クリートカラーは速乾性のため、1~2 時間以上の乾燥時間でS クリートガードを塗布することが可能です。S クリートガードの塗布量は 5~8 m<sup>2</sup>/ℓ (2 回塗り)。

### オプション

コンクリートが著しく劣化している場合にはS クリートアップを事前に塗布することをお勧めします。その場合には、S クリートアップを塗布した後にS クリートカラーを塗布してください。  
(S クリートアップの塗布量は 0.2 kg / m<sup>2</sup>。多孔質なコンクリートの場合には 0.3 ~ 0.5kg / m<sup>2</sup>)

### 注意事項

- S クリートカラーの上にS クリートガードを塗布する際、S クリートガードの浸透が弱まるため垂れ跡が発生する場合があります。S クリートカラーの上からS クリートガードを塗布する際には、1 度に多く塗布するのではなく、薄く 2 回塗布するようにしてください。
- S クリートカラーは透湿性を高める為、粘性を極力低く設定しています。そのため、製品の缶底に沈殿物が発生する場合がありますが、製品の性能には全く影響がありませんので、水と倍希釈した後、高速攪拌機にて、十分に攪拌してからご使用ください。インパクトドライバ等では十分な回転力が得られない場合がありますので、攪拌用途への使用は避けてください。

発売元

# BIRCS

株式会社バークス環境

〒152-0004

東京都目黒区鷹番3-14-13-302

TEL.03-5794-3933 FAX.03-5794-3934

E-mail: bircs@bircs-kankyo.com